

【JST 女子中高生の理系進路選択支援プログラム】
「香川大学ダイバーシティ＆サイエンス 理系選択応援プロジェクト」
出前講座＜観音寺市立大野原中学校＞実施報告

日 時：2024 年 12 月 9 日(月) 10:40～11:30

会 場：観音寺市立大野原中学校

講 師：香川大学創造工学部 助教 小宅 由似

香川大学創造工学部 4 年 安藤 穂歩

参加者数：中学校 1 年生 83 名、教員 7 名

令和 6 年度香川大学ダイバーシティ＆サイエンス理系選択応援プロジェクトの第 4 回目の出前講座を、12 月 9 日観音寺市立大野原中学校で開催しました。参加者は中学 1 年生の男女 83 名と教員 7 名でした。

校長室で、石川校長先生から、香川大学の進路選択支援に関する行事への謝意を述べられた後、大野原中学校の生徒の生活環境や、学校活動や、部活動の活躍の紹介など意見交換を行ったのち、体育館に移動しました。講師の小宅先生のご専門は、景観生態学であり、「どうして街の中に緑？」という問いから講義は始まりました。生徒に優しく質問をしながら、「草花があると気分が上がる」「季節感を味わいたい」「食事を豊かにしてくれる」「夏の暑さを和らげてくれる」「実は空気を綺麗にしている」と、生態系サービス（生物多様性から得られる恵み、生物やその棲家が人の暮らしにもたらしてくれる恵み）について解説してくださいました。また、ご自分のキャリアトークでは、高 3 の時に「ナラ枯れ」に興味を持ったことの縁が今でも続いていることが紹介されました。

その後の学生によるキャリアトークでは、4 年生の安藤さんから、将来の夢、中高時代のこと、香川大学で参加した「讃岐ちようちん・屋島山上ちようちんカフェ」の学生プロジェクトのお話がありました。理系を選んだのは、就職が決まりやすいと思ったとのこと、進路について迷う過程で、努力できればいいとの話がありました。

参加者からは「高校や進路にすごく不安があったが、参考になった」「自分の進路などでよく考えて選択したい」と、前向きな気持ちになった意見が多数寄せられました。



小宅先生の講演の様子



安藤さんのキャリアトーク